

問1 日本の諸地域の気候を比較したとき、那覇市の平均気温や降水量の特色について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年

栃木県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 年間を通じて気温が高く、1月と7月の平均気温の差は、内陸に位置する松本市などの都市と比べて小さい。 | 2. 亜熱帯に近い気候のため、年間の降水量は日本で最も少ない部類に入る高松市よりも、すべての月において下回ることはない。 | 3. 夏と冬の気温差が非常に大きく、札幌市などの北日本の都市と同様に、冬の降水量が1年の中で最も多くなる。 | 4. 年間の平均気温は福岡市などの九州地方の都市よりも低くなるが、梅雨や台風の影響で年間の降水量は非常に多い。 |
|--|--|---|---|

問2 宮崎県において、農業産出額に占める畜産の割合が他の都道府県と比較して際立って高い理由として、自然環境や土地利用の背景をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。（2018年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 年間を通して降水量が極めて少なく乾燥しているため、農作物の栽培よりも家畜の管理に適している。 | 2. 広大なシラス台地が広がり水田稲作に適さない土地が多いため、広域な土地を利用した家畜の飼育が行われてきた。 | 3. 大消費地である東京圏に隣接しており、鮮度が重要な生乳や精肉を短時間で出荷できる有利な立地条件にあるため。 | 4. 冬の寒さが厳しく、ビニールハウスを利用した施設園芸農業よりも、室内で行う畜産業の方が効率が良いため。 |
|---|---|---|---|

問3 九州地方南部に広がる「シラス台地」と呼ばれる火山灰の台地において、大規模な稲作よりも豚や鶏などの畜産業が盛んに行われてきた理由として、最も適切なものはどれですか。（2016年 高知県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 大規模な灌漑設備を整えるよりも、家畜の餌となるトウモロコシの栽培の方が容易であったため | 2. シラス台地は標高が高く、夏季の気温が稲の成長に必要な水準まで上がらないため | 3. 火山灰が堆積した地層は水はけが良すぎて、稲作に必要な水を保持することが困難であったため | 4. 台地の土壤に塩分が多く含まれており、塩害に弱い稲の栽培が不可能であったため |
|--|--|--|--|

問4 九州地方における集積回路（IC）の工場分布の特徴を述べた次の文章において、空欄に当てはまる内容として最も適切なものはどれですか。「九州の地図上で工場の分布を確認すると、それらは主に（ ）の周辺に密集している。これは、製品が小型軽量で付加価値が高いため、輸送コストよりも輸送の速さが重視されるからである」（2016年

山口県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------|---------------|------------|----------------|
| 1. 広大な土地が確保できる干拓地 | 2. 大規模な貿易港や運河 | 3. 空港や高速道路 | 4. 原料が採掘される山間部 |
|-------------------|---------------|------------|----------------|

問5 鹿児島県の南方に位置し、人口約3万人のある島に関する統計資料において、「日本最大のロケット打ち上げ施設（宇宙センター）があり、宇宙開発関連の観光が行われている」「農業ではサトウキビの生産が盛んである」と説明されている島はどこですか。（2019年 東京都公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 種子島 | 2. 奄岐島 | 3. 奄美大島 | 4. 屋久島 |
|--------|--------|---------|--------|

問6 宮崎平野できゅうりなどの栽培に用いられる、ビニールハウスなどの施設を利用して作物の成長を早め、通常の出荷時期よりも前倒しして出荷する栽培方法を何といいますか。（2023年 福島県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|--------|---------|
| 1. 近郊農業 | 2. 抑制栽培 | 3. 二毛作 | 4. 促成栽培 |
|---------|---------|--------|---------|

問7 九州南部の広範囲に見られる「シラス台地」の土壤の成り立ちと性質について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2017年

沖縄県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 植物の遺骸が分解されずに堆積した泥炭地であり、湿気が多い。 | 2. 河川が運んできた土砂が堆積してできており、水分を蓄える力が強い。 | 3. 大昔の貝殻やサンゴが積み重なってできており、アルカリ性が強い。 | 4. 火山の噴出物が積み重なって形成されており、水はけが非常に良い。 |
|----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|

問8 沖縄県の農業は、温暖な気候を活かした亜熱帯農業が特徴です。農業産出額の品目別割合を示した統計において、さとうきびなどの工芸作物を含む項目の割合が約40パーセントに達し、全国的に見ても独自の構成となっています。この項目に含まれる、沖縄県で生産が盛んな代表的な工芸作物はどれですか。（2017年 愛知県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|-------|---------|------|
| 1. さとうきび | 2. 野菜 | 3. 稲（米） | 4. 茶 |
|----------|-------|---------|------|

問9 九州地方の北東部に位置し、別府や由布院といった日本を代表する温泉地がある大分県では、火山の熱エネルギーを直接利用した発電が行われています。この発電方法を何といいますか。（2025年 北海道公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 地熱発電 | 2. 水力発電 | 3. 風力発電 | 4. 太陽光発電 |
|---------|---------|---------|----------|

問10 北海道の洞爺湖の近くにある有珠山は、たびたび噴火を繰り返す活火山ですが、周辺地域では火山と共生したまちづくりが行われています。火山が地域にもたらすマイナスの影響とプラスの影響を考慮したとき、適切な説明はどれですか。（2023年 茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 火山灰による農作物への被害や噴火災害の恐れがある一方で、温泉や美しい景観が観光資源となっている | 2. 火山活動によって土地が肥沃になり稲作が飛躍的に発展したが、地熱によって周辺の気温が上がりすぎる弊害がある | 3. 噴火によって流出した溶岩が平坦な土地を作るため工場誘致に有利だが、火山ガスの影響で精密機械の製造が困難である | 4. 火山灰が降り積もることで大規模な森林が形成され林業が盛んになるが、山火事が発生しやすいリスクがある |
|--|---|---|--|

問11 九州地方の西側に位置する東シナ海には、大陸から続く平坦な海底が広がっています。このような、一般に水深が200mよりも浅い海底地形を何と呼びますか。（2016年 岡山県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 1. 砂州 | 2. 海溝 | 3. 海盆 | 4. 大陸棚 |
|-------|-------|-------|--------|

問12 鹿児島県などに広がるシラス台地において、古くから稲作よりも畑作や畜産が盛んに行われてきた理由として、土壤の性質の観点から最も適切な説明はどれですか。（2017年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 土壤に含まれる塩分濃度が高く、稲の根が枯れてしまうため | 2. 河川から運ばれた土砂が固く堆積しており、田を耕すことができないため | 3. 非常に水はけが良く、水田に必要な水を蓄えておくことが困難なため | 4. 標高が高く年間を通じて気温が低いため、稲の成長が著しく遅れるため |
|--------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 年間を通じて気温が高く、1月と7月の平均気温の差は、内陸に位置する松本市などの都市と比べて小さい。	那覇市は低緯度に位置し、周囲を海に囲まれた海洋性の気候であるため、年間を通じて平均気温が高く、夏と冬の気温差（年較差）が小さいのが特徴です。これに対し、内陸にある松本市などは放射冷却などの影響で冬の冷え込みが厳しく、気温の年較差が大きくなります。また、那覇市は梅雨や台風の影響で降水量は多い傾向にありますが、時期や年によっては他の都市よりも少なくなることもあり、常に他の都市を上回るわけではありません。
問2	答え 2 広大なシラス台地が広がり水田稲作に適さない土地が多いため、広域な土地を利用した家畜の飼育が行われてきた。	宮崎県を含む南九州には、火山の噴出物が堆積してできた「シラス台地」が広く分布しています。この土地は水持ちが悪く、かつては大規模な水田稲作には不向きであったため、水に頼りすぎない畑作や畜産業が中心となって発展しました。現在ではこの地理的条件を背景に、肉用牛や豚、鶏などの飼育頭数で全国トップクラスを誇る有数の畜産地帯となっています。東京圏への出荷については、距離が離れているため、フェリーやトラック輸送を活用した広域流通が工夫されています。
問3	答え 3 火山灰が堆積した地層は水はけが良すぎて、稲作に必要な水を保持することが困難であったため	九州南部に広がるシラス台地は、過去の火山活動によって噴出した火砕流堆積物からなる台地です。この土壌は水分を保持しにくい「水はけが良い」という性質を持っており、水田に水を溜めることが難しいため、古くから稲作には不向きとされてきました。その結果、水が少なくて育つサツマイモなどの畑作や、広大な土地を利用した豚・鶏などの畜産業が発展しました。
問4	答え 3 空港や高速道路	集積回路（IC）は非常に小さく軽量の部品であり、トラックや航空機による高速輸送に適しています。そのため、九州地方では製品を迅速に出荷できるよう、交通網の拠点となる空港や高速道路のインターチェンジ付近に多くの工場が立地しています。重い原材料を運ぶ必要がある鉄鋼業や石油化学工業が臨海部に立地するのは対照的です。
問5	答え 1 種子島	鹿児島県の南方に位置する種子島は、島全域に平坦な丘陵が広がっているのが特徴です。この地形を活かして、日本最大のロケット打ち上げ施設である種子島宇宙センターが設置されており、宇宙開発は島の重要な観光資源にもなっています。また、温暖な気候を利用したサトウキビ栽培も島の主要な産業の一つです。
問6	答え 4 促成栽培	冬でも暖かい九州地方の気候を活かし、ビニールハウスできゅうりやピーマンなどを育てる方法を促成栽培と呼びます。他の産地の出荷が少ない冬から春にかけて市場に供給することで、農産物を高い価格で販売できるという利点があります。これに対し、高冷地などで収穫時期を遅らせる方法は抑制栽培と呼ばれます。
問7	答え 4 火山の噴出物が積み重なって形成されており、水はけが非常に良い。	シラス台地は、主に過去の巨大噴火による火砕流などの火山噴出物（火山灰や軽石など）が厚く積み重なって形成されました。土壌の粒が粗いため、水が地中にしみ込みやすく「水はけが良い」という特徴を持っています。この性質は、水田稲作よりも畑作に適した環境を生み出しました。
問8	答え 1 さとうきび	沖縄県は年間を通じて温暖な亜熱帯気候に属しており、他の都道府県では栽培が困難な作物が中心となっています。特に、砂糖の原料となる「さとうきび」は、加工を目的として栽培される「工芸作物」に分類されます。沖縄県ではこの工芸作物の産出額が非常に大きく、統計上でも大きな割合を占めているのが特徴です。一方で、水資源の確保が難しい島嶼部の特性などから、稲作の割合は極めて低くなっています。
問9	答え 1 地熱発電	大分県は火山活動が盛んであり、地下のマグマの熱を利用して高温の水蒸気を取り出し、タービンを回す発電方法が普及しています。これは再生可能エネルギーの一つであり、温泉地としても知られる別府などの地域特性を活かしたものです。水力発電はダムなどの水の落差を利用するもので、火山の熱を利用するものではありません。
問10	答え 1 火山灰による農作物への被害や噴火災害の恐れがある一方で、温泉や美しい景観が観光資源となっている	火山は、降灰による農作物への被害や、噴火による建物・インフラの破壊といった災害リスクを地域にもたらします。しかし同時に、有珠山周辺の洞爺湖のような美しい景観や、地熱による温泉、そして肥沃とはいえないまでも特殊な土壌を生み出すなど、観光業を中心とした大きな経済的恩恵ももたらしています。このように、自然の脅威と恵みの両面を理解することが地理学習では重要です。
問11	答え 4 大陸棚	日本列島の周辺、特に九州の西側に広がる東シナ海には、水深200m程度までの比較的浅くて平らな海底地形が続いています。これを大陸棚と呼び、日光が届きやすくプランクトンが豊富であるため、好漁場となります。一方で、水深6000mを超えるような非常に深い溝状の地形は海溝と呼ばれます。
問12	答え 3 非常に水はけが良く、水田に必要な水を蓄えておくことが困難なため	シラスは火山の噴出物からなる粒子の粗い土壌であり、水分を保持しにくい「水はけが良すぎる」という性質を持っています。常に一定の水を張っておく必要がある水田（稲作）には不向きであったため、代わりに乾燥に強いサツマイモや茶などの畑作、あるいは広大な土地を利用した肉用牛や豚などの畜産が発展しました。